

令和3年度行政評価 事務事業評価シート(令和2年度実績)

事務事業コード	050104100	予算コード	01083380	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A		
事務事業名	エリアマネジメント活動推進事業			正規職員数 0.1	国庫支出金 42,856	有効性	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンド需要が深刻な低迷に陥っていることから、関係人口の増加につながる手法を検討する必要があることから、増え続ける中心市街地エリア周辺の遊休不動産を活用し、起業創業を目指す人や、新たな事業所の誘致に取り組み、遊休不動産の解消と中心市街地の再生に取り組んでいく必要がある			
担当課	まちの活性課			嘱託職員数 0.5	府支出金 0	効率性	C				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0						
				歳出(千円)	その他 42,856	妥当性	A				
				人件費総額 2,594	一般財源 2,594						
					減価償却費 0	受益者負担	B				
				事業費 85,712							
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	88,306	緊急性	A			事務事業実施内容	
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円)	878	活動指標	R2実績			公的関与	A
対象	不特定の市民			対象数							
事業の内容	地方創生推進交付金を活用した事業 まちの再生事業(人材育成・遊休不動産活用、その他まちづくり事業)、テレワークスペース運営事業、さのぼ運営事業(販路拡大支援、マーケティングデータ生成等)			泉佐野市(中心市街地エリア)での起業・創業、就労を希望する方	テレワークスペースでの講演会数	1.0	実施主体・委託化	C			
事業の目的	泉佐野市の中心市街地の活性化を図るため、中心市街地のエリアマネジメントの推進と、女性等の社会進出のサポートを通じた中心市街地エリアにある遊休不動産の活用、商店街への人が集う仕組みの構築、商店街をはじめとする中心市街地の再生に取り組むことを目的で実施。			さのぼ会員数	29,102.0	他の事務事業との関連	C				
				成果指標		R2実績	透明性	A			
				遊休不動産活用数				財政健全化計画	未入力		
				テレワークスペース利用者数		909.0					
				経済効果(消費額)		7.5		財政健全化の取組	未入力		
				コスト指標		R2実績	改革改善プラン達成度	未入力			
講演会等参加者一人当たり経費		15,130.0									
テレワークスペース利用者数1人当りの経費		23,234.0									
さのぼ会員1人当たり経費		668.0									